

2026 年 3 月 3 日

株式会社タダノ

国際建機展「CONEXPO 2026」出展のお知らせ

当社は、2026年3月にアメリカ・ラスベガスで開催される国際建機展「CONEXPO-CON/AGG 2026」に出展します。中期経営計画（24-26）に掲げる「Reaching new heights」のスローガンに沿って、新たな領域への挑戦とラインアップの拡充、顧客サポートやソリューションの充実、新たなステージに向かって変革を遂げるタダノグループを、来場者の皆さまに体感いただけるものと思います。



前回のCONEXPO 2023からわずか3年でタダノグループは大きな変貌を遂げました。旧・長野工業（現：タダノユーティリティ）、Manitex International、IHI運搬機械の運搬システム事業（現：タダノインフラソリューションズ）と3つの戦略的買収を通じて成長を加速しました。具体的には、従来のクレーン・高所作業車に加え、自走式の高所作業車、ブームトラック、ナックルブームクレーン、ピック&キャリークレーン、ジブクレーンやバルクハンドリングシステムなど、多岐にわたる製品ラインアップがグループに加わりました。

当社代表取締役社長の氏家俊明は「中計に掲げた成長戦略の1つが戦略的買収を通じた成長です。CONEXPO 2026で我々の変革をぜひ実感してください」と、タダノ・アメリカ社

長のDean Barleyは「北米のお客様に、タダノのグローバルな強みと、ソリューションやサポートを示す重要な機会になるでしょう」とコメントしています。

One Tadano：ブランド統一による一貫した顧客体験の実現

今回のCONEXPOの大きなトピックの一つが、タダノの製品ポートフォリオを「TADANO」ブランドに基本統一したことです。One Tadanoでのブランド戦略の一環として、たとえば米国製のManitex製品もタダノブランドに統合し、従来グローバルで進めてきたブランド統一の方針を更に一步前進致しました。

Dean Barley社長は「Manitexのタダノグループへの統合は、決して短期的な取り組みではなく、慎重に検討された長期的な戦略として進めてきました。アメリカではまず、Manitexの工場をタダノの組織に完全に組み込むことを最優先事項としました。プロセスや品質基準を統一し、シームレスな統合を実現しました。同時に、成長戦略を支えるために適切な人材も採用しました。こうした強固な基盤が整ったことで、今まさにポートフォリオをタダノブランドのもとで統一する次のステージへと進もうとしています」と話しています。

従来の移動式クレーンに加え、ブームトラック、ナックルブーム、高所作業車も新たなブランドに加わります。これにより、全てのカテゴリーでブランド体験が統一され、お客様はどの製品・サービスでも一貫した品質とサポートを得られることになります。

すでに他の地域やグループ会社で進めてきたブランド統一の方針が、今回北米でも適用・展開されました。タダノは今後、One Tadanoとしてグローバルで一体感のあるブランドイメージを構築し、製品の拡充とともに、車両運用のシンプル化とブランド認知度の強化を実現します。

カスタマーサポート：拡大する製品ポートフォリオを支える基盤の強化

タダノは、製品ポートフォリオの拡大に合わせて、すべての製品カテゴリーでお客様に対して一貫した高品質のサポートを提供できるよう、積極的な投資を進めているところです。

最近では、Manitex Inc.や高所作業車（AWP）部門の営業リーダーを新たに迎え入れることで、これらの事業をタダノグループに統合し、お客様へのサポート体制を一層強化しています。また、タダノは長期的な成長を見据えた部品供給体制の強化にも取り組んでいます。米国では、倉庫の拡張や物流プロセスの改善、在庫水準の引き上げにより、補修部品の即時供給体制が大幅に強化され、出荷充足率の向上という具体的な成果もあがっています。これらの投資により、お客様のダウンタイム削減と、より迅速かつ信頼性の高いサービス提供が実現しています。

この取り組みはグローバル規模で展開されています。ヨーロッパに新設された集中型のスペアパーツセンターは、タダノの国際的な流通ネットワークをさらに強化し、世界各地への航空便による迅速な部品供給を可能にしています。これにより、北米のお客様は重要部品へのアクセスが向上し、緊急時のサービス対応もより迅速に実現。ダウンタイムの大幅な削減とフリートの信頼性向上に貢献します。

これらの新たな取り組みにより、拡充した製品ポートフォリオに対する販売・サービス体制が一層強化され、お客様の多様なニーズに的確に対応できるようになりました。

今回の展示会では、少人数制や実践型トレーニングを充実させた新しい研修プログラム「Master Tech」もご紹介します。Manitexグループのサービス機能をタダノに組み込むことで、より幅広くサポート体制も強化されました。リーダーシップの強化、技術者育成、サービス統合、部品供給インフラの拡充。これら一連の投資はタダノが北米で進める変革の基盤として、機械の稼働率向上、迅速な対応、そしてライフサイクルを通じたサポート体制の強化に注力していることを示しています。

Dean Barley社長は「お客様の保有製品の稼働率を最大限に高め、運用できることが何よりも重要です。製品の拡充にともない、お客様が必要とする最適なソリューション、トレーニング、部品、サービスサポートを確実に提供し、車両の稼働を支えることが私たちの最優先事項です」とコメントしています。

ラインアップの拡充、One Tadanoとしてのブランド統一、サポート体制の強化が連動・協調することで、お客様の保有製品運用や管理のシンプル化に貢献します。

主な展示機種のご紹介

▶テレスコピックブームクローラークレーン GTC-600-2

従来のGTC-550（55トンクラス）に代わる最新モデルです。113.8フィートのフルパワーブーム、28.9フィートのエクステンション、49.9フィートのジブ、独自のOPTI-WIDTH™機能を備え、最大4度の傾斜でもフルピック&キャリー作業が可能です。60トンクラスのテレスコピックブームクローラーとして、1台のトラックで輸送できる唯一の機種であり、多用途性の高さが特長です。

▶オールテレーンクレーン AC 5.250L-2

259.2フィートのサイドピン式メインブーム（最大98.4フィートの延長が可能）を装備し、クラス最高のパフォーマンスを誇ります。展示機は新設計のバイフォールドジブ（32.8/62.3フィート+3.6フィートアダプター付き）を搭載。厳しい道路法規にも適合する車軸荷重で、カリフォルニア州など厳しい地域の基準にも対応しています。北米では初披露となります。

▶自走式高所作業車 AS-63HD

タダノが2025年3月に発売した、北米市場向けの自走式高所作業車です。最大地上高は19mで、デッキ積載荷重は1,000kg。広々とした作業床によって、大量の資材や工具を効率よく扱うことができます。

▶自走式高所作業車 AL68スパイダーリフト

アウトリガー付きの狭軌クローラ方式で、樹木管理など柔軟な設置・アクセスが求められる作業に優れています。

▶ナックルブームクレーン（3機種）

材料搬送や設置、ユーティリティ作業、樹木管理など、さまざまな用途に適したナックルブームクレーンは、多彩な荷役性能と効率的な操作性、コンパクトな作業範囲を備えています。PM 16524 SとPM 23525 SP PTは、屋根施工、樹木管理、プレキャスト資材の搬送、プロパン配送、型枠設置、タイルや大理石の施工、資材の荷下ろしなど幅広い用途に最適です。J1414.20フライジブ搭載のPM 65024 SP PTは、油田サービス、石膏ボード搬送、溝掘り、樹木管理、プレキャスト資材搬送、型枠施工など、より高い要求に応える機種です。

Reaching new heightsを体感

「Reaching new heights」展示エリアでは、今後のLifting Equipmentを支える製品・技術・サービスを一堂に紹介します。

AI搭載アシスタント「hey TADANO」は、現場やオフィスから24時間いつでもアクセス可能で、製品の情報やトラブルシューティングにつながる迅速な回答を得られる新時代のサポート体制を提案します。また、タダノ・イノベーションセンターが提案する、統合的な安全システムや知能アシスト技術を組み込んだ「未来のクレーンコンセプト」も公開します。

また「Tadano Green Solutions」として、燃料消費や排出量を削減しつつ、運用コストの低減も実現する技術を紹介します。「Our True Mission: Zero Emissions」をスローガンに、電動化と環境負荷低減を加速させており、世界初となるフル電動ラフテレーンクレーン・eGR-1000XLL-1や、ピック＆キャリークレーン・25EL（Vallaシリーズ）、高所作業車eAA-22Cなど最新の電動化製品を展示します。

CONEXPO 2026について

会期：2026年3月3日(火)から3月7日(土)まで

会場：ラスベガス・コンベンション・センター

当社ブース番号：F47010

公式サイト：<https://www.conexpoconagg.com/>

株式会社タダノについて

1955年に日本初の油圧式トラッククレーンを発売して以来、タダノは業界のリーディングカンパニーとして、お客様の安全と地球環境に配慮した新たな価値を提供するための戦略を推進しています。2023年には世界初となるフル電動のラフテレーンクレーンを発売しました。中期経営計画（24-26）に掲げる「Reaching new heights」のスローガンのもと、当社は地域社会・国際社会発展への貢献と地球環境の保全に役立つ事業活動を推進し、すべてのステークホルダーの期待に応え「世界に、そして未来に誇れる企業」を目指します。

会社概要

会社名：株式会社タダノ

所在地：香川県高松市新田町甲34番地

代表者：代表取締役社長・C E O 氏家 俊明

URL：<https://www.tadano.co.jp/>

事業内容：建設用クレーン、車両搭載型クレーン及び高所作業車及び運搬機械等の製造販売

<本リリースに関するお問い合わせ>

株式会社タダノ 総務部コーポレートコミュニケーションG

TEL：087-839-5601

以上